

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 20日

事業所名： わくわくクラブ（本厚木校）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	・その日の状況に合わせて2部屋に分けている	・密にならない環境を引き続き整えていく
	2 職員の配置数は適切である	9	0	0		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	2	・バリアフリーを必要とする子どもがいないが、これから考えていく必要がある	・受け入れ児童の状況によりバリアフリー化を進めていくように対応する
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	0	・会議時に全スタッフに共有している	・引き続き実施していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	1	未記入：1 ・ホームページに公開し、教室での掲示も行っている	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	3	未記入：1	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	・社内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加している	・引き続き職員の資質向上を図るため、定期的を実施していく	
適切	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	・半年ごとにアセスメントを行い、ニーズや課題を聞き取っている	・引き続き継続して行う
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	1	・契約時や新年度に書面で回収している	・引き続き必要な情報を集めていく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	・会議や打ち合わせの中で意見を出し合い、話し合っ決めていく	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	・イベントの数を増やしている ・子どもたちの状況の変化に応じ、時間内プログラムを工夫している ・活動ごとに毎回内容を検討し、様々なプログラム内容を取り入れている	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0	・イベントとして活動の中に取り入れている（行事的なもの） ・時間や内容を変えたり、イベントを行っている	・季節感があり楽しめるイベントや活動として引き続き継続して行う

	チェック項目	はい	どちらとも いいない		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	・子どもの特性に応じて適宜組み合わせている ・個別活動と集団活動がバランスよく行えるように工夫している	・子どもの特性に合わせた支援を行い、集団活動と個別活動の良い面を取り入れていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	・朝のミーティング時に必ず話し合っている	・引き続きスタッフ間の情報共有を行い、打ち合わせに参加できなかったスタッフにも伝える仕組み作りをしていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	0	・サービス提供票を使って情報共有している ・それぞれの視点で気付いたことを共有し、記録に残している ・気付いた点は記録に残し、その日いなかった職員も共有できるようになっている	・引き続き日報への記録、口頭伝達を行い、振り返り内容を全スタッフと共有していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	・モニタリングシート、サービス提供記録票へ記録し、支援の検証や改善に繋げている	・引き続き継続して行う
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	9	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	8	1	0	・保護者から学校につ いての情報共有をして いただいている ・保護者からの要望 に応じて学校と情報共 有を行っている	・引き続き学校との情報共有を継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	4	2	0	未記入：3 ・対象となる利用者は いない	・今後、該当する児童を受け入れる場合は検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	3	4	1	未記入：1 ・対象となる利用者が これまでいなかった が、今後必要に応じて 情報提供していく	・今後、このような機会を得られるように環境を整える
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	9	0	0	・まめの木の定期巡 回相談を利用し、連携 を図っている	・さらに連携が深まるよう、頻度や参加メンバーの検討 をしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	2	5	未記入：1	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	8	1	1	・機会があれば参加し ていきたい	・どのスタッフも参加していけるように工夫していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	9	0	0	・送迎時に利用の様子 を伝え、保護者からも 自宅や学校での様子を 話してもらっている	・引き続き、保護者とのコミュニケーションを大切に していく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている	6	2	1	・直接の支援は行って いないが、市が開催し ているペアレントト レーニングを紹介して いる	・自事業所内でもペアレント・トレーニングの支援がで きるスタッフの育成を目指す	
保護者 への説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	9	0	0	・契約時に必ず行って いる	・引き続き行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	9	0	0	・面談や電話相談、振り返り時などで支援している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	1	1	6	未記入：1 ・わくわくカフェを再 開し、保護者同士が交 流できる場を提供して いきたい	・行事やイベントを通して保護者同士の連携が取れるよ うにさらに支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	9	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明 責 任 等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	・月に1度わくわくだよりを発行し、ブログの更新は月4回以上行っている	・引き続き情報発信をしていく
	35 個人情報に十分注意している	9	0	0	・ブログは職員間でダブルチェック、書類棚は施錠している	・今後も個人情報の取り扱いには気を付けていく
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7	未記入：1	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	・虐待防止委員会を設置し、全職員に対して毎年虐待防止研修を実施している	・定期的な虐待防止委員会の開催と全スタッフの研修受講を続けていく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0	・会議内で話し合い、組織としてどのように対応するのか認識を一致させている。対象となる利用者の保護者へ説明し、了解を得たうえで、計画に記載している	・組織的に決定すること、保護者への十分な説明を今後徹底していく
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	1	・食物アレルギーのある子が在籍していない ・おやつ配慮をしている	・引き続き注意や配慮をしながら対応する
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	0	・日々の支援の中でヒヤリハットを記録し、職員全員で共有している		